



大洲市 No.117 2014年 10月号

社協だより

編集/発行 社会福祉法人大洲市社会福祉協議会
〒795-0064 大洲市東大洲270-1

TEL 0893-23-0313
FAX 0893-23-0295

ホームページ <http://www.ozushakyo.jp>
大洲市社協 検索

赤い羽根共同募金

今年も皆様のご協力をお願いいたします。

平成25年度の赤い羽根共同募金は、市民の皆様のおかげで支援とご協力により、目標額を上回る実績を収めることができました。

今年度も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



今年は長浜にも
ガチャポンマシン
設置！！

「うーちゃん」缶バッジも
登場するよ！

平成25年度 共同募金種別実績表

(単位：円)

地区名	戸別募金額	法人募金額	学校募金額	街頭募金額	職域募金額	イベント募金額	その他募金額	募金額合計
本所	4,722,610	2,103,567	167,696	140,816	284,953	43,749	2,361,635	9,825,026
長浜	1,023,950	343,000	63,045	26,966	75,373	0	618,073	2,150,407
肱川	379,462	97,000	26,779	9,761	88,305	0	205,732	807,039
河辺	159,400	112,500	28,643	0	49,000	20,559	173,111	543,213
計	6,285,422	2,656,067	286,163	177,543	497,631	64,308	3,358,551	13,325,685

※集めていただいた募金は、全額愛媛県共同募金会へ送り地域のために役立てられています。

平成25年度大洲市への愛媛県共同募金配分金はこのように使われています

(単位：円)

区分	金額	事業名	金額	金額	説明
一般配分	9,925,009	老人の広場事業	625,000	97,000	肱南地区社協 サロン活動備品整備
				99,000	肱北地区社協 ミニデイ活動備品整備
				31,000	平野地区社協 サロン活動備品整備
				100,000	新谷地区社協 高齢者社会福祉活動備品整備
				100,000	三善地区社協 高齢者社会福祉活動備品整備
				98,000	長浜地区社協 サロン活動備品整備
				100,000	河辺地区社協 サロン活動備品整備
		児童の健全育成事業	168,000	68,000	平地区社協 平スポーツ少年団備品整備
				100,000	菅田地区社協 菅田スポーツ少年団備品整備
		老人福祉活動費	230,000	230,000	老人クラブ等団体助成
		障害児・者福祉活動費	200,000	200,000	身障者協会等団体助成
		児童・青少年福祉活動費	42,000	42,000	青少年健全育成等助成
		母子・父子福祉活動費	250,000	250,000	母子寡婦福祉団体助成
		福祉育成・援助活動費	6,618,397	6,618,397	福祉教育、地区社協育成費等助成
		ボランティア活動育成費	60,000	60,000	ボランティア団体等助成
		ボランティア基金繰入金	1,521,933	1,521,933	福祉ボランティア基金へ繰入
		研修費	171,144	171,144	県社会福祉大会参加助成
広報費	38,535	38,535	「社協だより」特集号発行費		
特別配分	1,500,000	赤い羽根地域福祉推進号特別事業	1,500,000	1,500,000	高齢者デイサービス送迎車両整備
合計	11,425,009				

ご注意ください

「連絡する」ことでトラブルに巻き込まれることも！
ハガキやメールで届く「〇〇代金の未払い請求」

こんなことがあったら

- ★携帯電話（スマートフォン）に、「デジタルコンテンツの利用料が未払いになっている。〇日後までに支払わなければ裁判所に訴える」「最後通告」などドキッとするような内容のメールが届いた。
- ★インターネットで検索をしているうちにちょっと興味をそそられるサイトで「無料！」と書いてあったのでクリックしたところ、「登録完了」「利用料〇万円」となった。電源を切って再起動しても同じ画面が張り付いたままになってしまった。

「絶対に相手に連絡しない。」でください。

連絡してしまうと？



- ★「間違って登録した場合には連絡してください。」などと一見良心的な対応をするかのような記述がある場合も、「解約(事務)手数料」「解約手続き前に個人情報流出しているため削除のために〇万円が必要」「違反行為があったので違約金が必要」など延々とお金を請求されることもあります。
- ★他の業者に個人情報を転売され次々と迷惑メールが寄せられるという二次被害にあう可能性もあります。

このような手口は以前から頻繁に使われていますが、子どもや高齢者にも携帯電話が普及したことにより同様の手口で被害にあわれる方が後を絶ちません。

スマートフォンは画面に触れるとすぐ反応するため思いがけないサイトを見てしまったということもあるかもしれません。

●ハガキの場合、公的機関や弁護士事務所などを思わせる名称を使用していますが実際には存在しません。



この事例を日頃から心に留めおき、また周囲の方にも周知を心掛け、いざこのような場面に遭遇した時皆が冷静な対応ができるようにしましょう。

まごころのおくりもの 7月分

金銭の部 (一般分)

(故)中野茂明様 長 浜
 金光教大洲教会信徒会 様 大 洲

(指定分)

《久米地区社協へ》
 楠田すみ子様 阿 蔵
 《肱北地区社協へ》
 いよぎん中村会様 中 村
 《喜多地区社協へ》
 山中清子様 田 口
 《平野地区社協へ》
 中野千春様 平野町
 菊池実様 平野町
 矢野睦子様 松山市
 《菅田地区社協へ》
 鳴滝勝明様 菅田町
 《三善地区社協へ》
 白石愛子様 春 賀
 《上須戒地区社協へ》
 西山茂様 上須戒
 上田サヨ子様 上須戒
 《長浜地区社協へ》
 (故)中野茂明様 長 浜
 《河辺地区社協へ》
 松岡 敬様 河辺町
 宮岡末光様 河辺町
 《特別養護老人ホーム
 かわかみ荘様へ》
 草莽の一蛭様 大洲市

物品の部

《大洲市社会福祉協議会へ》
 大洲婦道会様 柚 木
 タオル 62枚
 本 竜 拙 宗 様 河辺町
 ダイハツミライース 1台

あたたかい善意をありがとう
 ございました。感謝をこめて掲載
 させていただきます。

地区社協からのお便り

地区社協が取り組んでおられる
 事業のお便りを紹介します。

河辺地区社協より

さる七月九日に河
 辺の大伍地区にて、
 地区社協として初め
 て「介護に関する勉
 強会」を実施しとて
 も好評をいただきました。



今回は、話を聞くだけではなく
 是非実技をしないと、介護用品取
 扱い業者さんからベッドをお借り
 して、ベッドから車いすへの移乗
 の仕方等の講習を行いました。
 その中で、最近の福祉用具は便
 利に進化しているということも、
 実物を使いながら見せていただき
 ました。その一部がこちらです。



この車椅子は、肘掛け
 を後ろに倒してずらすこ
 とができ、ベッドとの行
 き来の際に、肘掛けが邪
 魔にならないように改良
 されたものです。

上の車椅子と
 一緒に使うとさ
 らに便利なのが
 これ



このプレートは表面が
 よく滑り、ベッドと椅子
 の間を橋渡しさせること
 で、一人でも楽に移動す
 ることができます。もち
 ろん介助する方にも横に
 滑らすだけなので有難い
 道具です。



ベッドから車いすへの
 移乗を介助者役と要介護
 者(片マヒ)の方の設定役
 に分かれ行ってみました。



実技講習は、まず寝返りの理屈と
 コツを「コロコロ」と実際に寝返りなが
 ら確かめる所から始めました。



この手袋は、よく滑る素材
 でできており、寝ている方の
 体とベッドの間に手を滑り込
 ませることができます。背
 上げや背下げ等で痛みやスト
 レスのない優しい介助がで
 きます。血流が滞ってできる
 褥瘡の予防にも役立ちます。



この布は、三層構造になっ
 ておりよく滑ります。布な
 ので下に敷きこみやすく、
 ベッドの下へすれてしまっ
 た方も、自力でベッドの端
 を蹴るだけで戻ることがで
 きます。もちろん、介助者
 が引き上げるのも、する一
 と上げることが出来ます。

参加された皆さんは、「私の時
 はベッドの上に乗って力いっぱい
 上に引っ張り上げていたのに！」
 「これなら楽に介護ができそ
 うだ！」など感嘆の声を上げてお
 られました。
 とても楽しく勉強できた一日で
 した。

大分やりやす
 くなったねえ！



おおずのボランティア
紹介コーナー

ここでは、大洲市でがんばっている
ボランティアを紹介していきます。

第17回
ボーイスカウト大洲第1団
ボーイ隊長 小池 真治



↑第4回南予地区キャンポリー時の集合写真



奉仕活動
の様子↓

《どんな団体・活動ですか》

ボーイスカウトは、「世界で最大の社会教育運動」と言われ、世界中に加盟員がいる団体です。運動の目的は、子どもたちが仲間と野外活動や冒険を通して色々なことを身につけたり、奉仕活動をして社会の仕組みを知ったりしながら、「より良き社会人」を目指すというものです。この目的のもとボーイスカウト大洲

第一団は、大洲市内の子どもたちを対象に活動しています。人数は隊員・指導者合わせて六十名。活動内容はキャンプ、ハイキング、ラフティング、スキー、田植え、夜間ハイクほか様々な野外活動と、共同募金・緑の募金の街頭募金、「全国一斉カントリ大作戦」と銘打った空缶拾いなどの奉仕活動です。また、四年に一回開催の国際キャンプ大会「日本ジャンポリー」にも参加しています。

《発足とあゆみ》

この運動は、1907年にイギリスで一人の退役軍人が、当時の荒れている子どもたちを見て更生させたいと考え実践したことから世界中に広がりました。

私たちのボーイスカウト大洲第一団は、平成十二年九月に発団しました。実はもつと以前からこの団はありましたが、指導者不足等で活動が中断されていました。一方、愛媛県全体でも平成十一年から加盟者数が減少しており、ボーイスカウト運動の必要性を再認識し活発化させなければ、という気運が高まっていました。そのような中で、大洲でもおよそ十五年振りに団を復活させました。

《活動の楽しみ・魅力》

多々ありますが、その中のひとつに、子どもたちの成長が見れるということがあります。ある日、思いがけず困難な事態に遭遇した子どもたちの中にいたスカウトの子から、「こ

んなんボーイスカウトで慣れてるからへっちゃら。」の言葉が出たのを聞きました。動じない心を持てるようになったなあと、彼らを頼もしく感じました。

また、ジャンポリーで日本全国、そして外国の隊員と交流できることも、視野を広げることができ魅力です。外国人の隊員に英語で話しかけて通じなかった経験をして、「もつと頑張ろう！」という気になったという子も多くなります。

《今後の課題》

隊員数の維持です。ボーイスカウトの活動は、団の中で班分けし班同士競争することで切磋琢磨するのが基本的な形です。その形がとれるだけの人数を維持しているようがんばらなければと思っています。

また、力仕事で頼りになる男性の指導者も増やしたいと思っています。初心者の方でも指導養成体系があるので安心して指導者になることができます。

《メッセージ》

今の子どもたちは「知識」を沢山持っていると思います。しかしその知識は、「経験」(苦楽どちらも)を重ねることこそ人生を豊かにする「知恵」となるのだと思います。今後多くの子どもたちに様々な経験の機会を作り、頭でっかちでない豊かな人間形成を手伝っていかれたらと思います。

心配ごと相談所案内

大洲市社会福祉協議会(本所)	【一般相談】毎週月・水 【介護相談】毎週金 【弁護士法律相談※要電話予約】毎月第1・3火(10月7日と21日) 【司法書士等法律相談】毎月第2・4・5火および毎週木 大洲市総合福祉センター 午前10時～午後4時(弁護士法律相談は正午まで) ※祝日を除く
長 浜 支 所	10月24日(金) 大洲市長浜体育館 午後1時～午後4時
肱 川 支 所	10月 6日(月) 大洲市肱川公民館 午後1時30分～午後4時30分
河 辺 支 所	10月10日(金) 大洲市河辺老人福祉センター 午前9時～正午
お問合せ先	本 所 TEL 23-0313 (代表、弁護士相談予約) TEL 23-5629 (相談室直通) 長浜支所 TEL 52-1194 肱川支所 TEL 34-2312 河辺支所 TEL 39-2510